

## IV-99

## 居住経験による水辺空間利用実態の相違に関する研究

愛媛大学工学部 正会員 柏谷増男 愛媛大学工学部 正会員 朝倉康夫  
愛媛大学大学院 学生員 ○渡部考識 八千代エッジ・コリアグ 正会員 河野佳恵

## 1. はじめに

住民の水辺空間の利用実態を分析する場合、居住経験の違いを考慮に入れる必要があると思われる。なぜなら、過去の水辺体験が、人々の水辺活動に少なからず影響を与えていると考えられるからである。そこで本研究では、水に恵まれた愛媛県西条市を対象に、市民の水辺空間利用実態に関するアンケート調査を行い、市民の居住経験と水辺空間利用について考察した。

## 2. 調査の概要

西条市役所及び県外に本社を持つ企業の勤務者を対象に、平成3年9月にアンケート調査を実施した。調査内容は、西条市全域にわたる代表的な18ヶ所の水辺空間の利用実態、そのうち黒瀬ダム・加茂川・アクアトピア水系の施設整備要望、及び個人属性など19項目である。回答者数は754人であった。

## 3. アンケート調査の結果と考察

表-1 居住経験の違いによる利用の割合差

| 割合差 | 1.5%未満              | 1.5～2.9%                                         | 3.0～4.9%                     | 5.0%以上 |
|-----|---------------------|--------------------------------------------------|------------------------------|--------|
| A-C | お堀など<br>※室川<br>※三碧峽 | 加茂川下流(-)<br>東宮(+)<br>大保木の里(+)                    | 武丈周辺(-)<br>黒瀬ダム(-)<br>西の川(-) | 観音水(+) |
| B-C | お堀など<br>※三碧峽        | 観音水(+)<br>東宮(+)<br>黒瀬ダム(-)<br>大保木の里(+)<br>※室川(+) | 武丈周辺(-)<br>西の川(-)            |        |

※Cが0%の場合

グループ(A, B, C)

A: 主に西条市に住んでいる人の割合

B: 市外で生まれ育ち、5年以上西条市に住んでいる人の割合

C: 市外で生まれ育ち、最近(5年以内)西条市に居住した人の割合

※表-2, 表-3でも同様に用いられる

(A-C), (B-C): 正のとき(+), 負のとき(-)

表-2 居住経験の違いによる利用形態の割合差

| 割合差 | 1.5%未満       | 1.5～2.9%                                | 3.0～4.9%                     | 5.0%以上    |
|-----|--------------|-----------------------------------------|------------------------------|-----------|
| A-C | 水遊び<br>お花見など | ピクニック(-)<br>釣り(+)<br>仕事(+)<br>バーベキュー(-) | 散歩(-)<br>芋たき(-)<br>特に目的なし(+) | 祭り, 行事(+) |
| B-C | 釣り<br>お花見など  | 特に目的なし(+)<br>ジョギング(+)                   | 散歩(-)<br>祭り, 行事(+)<br>芋たき(-) |           |

## (1) 居住経験と水辺空間の利用の関係

居住経験の異なる3つのグループ(A, B, C)について、各水辺空間を利用する人の割合を求め、グループ間の差(利用割合差)を比較したものが表-1である。アクアトピア水系に含まれる「観音水」では、「主に西条市に住んでいる人」の利用割合が14%に対して、最近居住した人は8%となっている。観音水は最近市によって整備された水辺空間であるが、観光名所的なものではない。このため市役所職員は関心を持っているが、居住経験の短い人はあまり利用していない。それ以外では相違は目立たないが、「武丈周辺」、「黒瀬ダム」、「西の川ロープウェイ」では、居住経験の短い人ほどよく利用している。これは、居住経験の短い人ほど西条市の水辺空間に対する知識が浅く、知名度の高い所に集中したり、人から誘われて行く人が多いためだと思われる。また、「東宮」、「大保木ふれあいの里」では、居住経験が長く西条市の知識がある人がよく利用しているといえる。「お堀」など昔から存在している所や、知名度の低い水辺空間では、居住経験差による利用差は、ほとんど関係ないことがわかる。

## （２）居住経験と利用形態の関係

居住経験の違いによる各利用形態の差を表-2に示す。表-2から、「祭り、行事」など歴史性の強いものは、「主に西条市に住んでいる人」が多く、居住経験の短い人の積極的な参加が少ないといえる。逆に、「芋たき等の飲食」など人に誘われて行く機会の多いものや、「散歩」などの活動では、居住経験の短い人がよく利用しているといえる。また、「ピクニック」、「バーベキュー」に代表されるような必ずしも水辺空間でなくても構わないものは、居住経験の短い人が若干多く利用している。「お花見」、「水遊び」、「釣り」など活動内容の選択が場所の選択より先行するものは、居住経験の長い人がやや多く利用しているが、全体としては居住経験による相違はあまり見られない。

## （３）居住経験と施設整備の要望の関係

表-3 居住経験における整備施設の要望（第1位）の割合差

18ヶ所の水辺空間のうち、利用者が多い黒瀬ダム、加茂川、アクアトピア水系について、居住経験の違いによる施設整備の要望の差を表-3に示す。表-3から、どの水辺空間も「ベンチ、休憩所」への要望が強く、居住経験の長い人はより落ち着いてくつろげる場所を求めているといえる。逆に、居住経験の短い人は、黒瀬ダムに「遊歩道」、「水辺に続く階段」などの遊水施設、アクアトピア水路に「水辺の散策路」、「木かげ」など散歩と結び付く環境を要望する人が多い。居住経験に関係なく、黒瀬ダムでは豊かな水量を活かした「魚釣り場」、加茂川では利用者が多いことから「便所」、アクアトピア水系では周辺環境と調和した「お花畑」を要望する人が多い。

| 割合差    | 3.0%未満            | 3.0~4.9%                  | 5.0~7.9%             | 8.0%以上     |
|--------|-------------------|---------------------------|----------------------|------------|
| 黒瀬ダム   | A-C 水辺に続く階段など     |                           | 遊歩道(-)               | ベンチ、休憩所(+) |
|        | B-C 魚釣り場など        | 水辺の散策路(+)<br>ベンチ、休憩所(+)   | 水辺に続く階段(-)           |            |
| 加茂川    | A-C 便所など          | 水辺の散策路(-)                 |                      | ベンチ、休憩所(+) |
|        | B-C 便所、芝生広場など     | テニスコート(-)                 |                      | ベンチ、休憩所(+) |
| アクアトピア | A-C お花畑など         | 水辺に続く階段(+)<br>ベンチ、休憩所(+)  | 水辺の散策路(-)<br>木かげ(-)  |            |
|        | B-C お花畑<br>魚釣り場など | 水辺の散策路(-)<br>駐車場(-)、便所(-) | ベンチ、休憩所(+)<br>木かげ(-) |            |

※要望割合が5%以上のものについて行った

表-4 居住経験における活動パターン

| 活動項目    | 居住経験の長い人                       | 居住経験の短い人                           | 居住経験に関係なし                         |
|---------|--------------------------------|------------------------------------|-----------------------------------|
| 利用場所    | アクアトピア観音水<br>大保木ふれあいの里<br>東宮   | 武丈周辺<br>黒瀬ダム<br>西の川ロープウェイ          | お堀<br>知名度の低い水辺空間                  |
| 活動形態    | 祭り、行事<br>特に目的なし                | 芋たき等の飲食<br>散歩                      | お花見<br>水遊び<br>釣り                  |
| 施設整備の要望 | ベンチ、休憩所<br>(黒瀬ダム、加茂川)<br>(アクア) | 遊歩道(黒瀬ダム)<br>水辺の散策路、階段<br>木かげ(アクア) | 魚釣り場(黒瀬ダム)<br>便所(加茂川)<br>お花畑(アクア) |
| 活動の性質   | 関心が高い人<br>歴史性を重視する人            | 人から誘われて行く人                         | 場所より活動を先行させる人                     |

## 4. おわりに

以上の結果をまとめた表-4から、西条市民の居住経験と活動パターン・要望について、ある程度の相違があることがわかった。しかし、この割合差は、最大10%程度であり、必ずしも大きいとはいえず、筆者らの事前の予想をかなり下回

るものであった。この理由として、西条市においても生活パターンの平均化が進み、市民の日常生活と水辺空間との関わりが弱くなってきていることが考えられる。水辺空間整備については、ハード面とともにソフト面での取り組みが必要と思われる。

最後に、アンケート調査に御協力頂いた西条市民の方々に感謝を申し上げます。